

【12月2日16:00～開催】 イスラエル・ガザ人道危機 —赤十字 支援活動報告会—



2023年10月に発生したイスラエル・ガザ人道危機から2年がたちました。今年の10月には停戦合意の第1段階が発効しましたが、現地では依然として生活必需品が行き渡る状況ではなく、必要な医療サービスにも十分にアクセスできない状況が続いている。赤十字は人びとのいのちを守るため、ネットワークを生かして支援活動を継続してまいりました。今回の報告会では、ガザでの医療活動に従事してきた赤十字国際委員会(ICRC)職員と、現地の赤十字との共同事業を担当する日赤職員より、最新の支援状況をご報告いたします。

日 時 **2025年12月2日(火) 16:00～17:30**

開催方法 オンライン(Zoom ウェビナー)

内 容 本人道危機の対応を行っている ICRC 職員・日赤職員による報告

報告者 ICRC ヨルダン地域代表部 整形外科部門責任者 安藤 恒平

日本赤十字社 中東地域代表部 副代表 青山 寿美香

申し込み 事前申し込み不要。どなたでもご参加いただけます。



時間になったら[こちら](#)/二次元コードからお入りください [ウェビナーID 863 9979 8348]

*ブラウザからご視聴の場合、Cookie の設定が必要となる場合があります。

報告者プロフィール>>



安藤 恒平

2021年からICRCの外科医／整形外科医として、南スーダンやナイジェリアに派遣され、ガザには2023年12月以来、計6回赴いた(うち、ラファの赤十字野外病院には3回)。現在は、中東ヨルダンのアンマンに駐在し、世界のICRCの整形外科部門の責任者を務める。



青山 寿美香

日赤中東地域代表部、副代表。2022年3～8月、及び2024年1月～レバノンに派遣され、日赤の中東事業に関して現地でのコーディネーションを図っている。パレスチナ赤新月社本社のあるラマッラにも度々出張し、現地赤十字・赤新月社との緊密な連携を図る。薬剤師。

本件お問い合わせ:国際部国際救援課(kokusai-kyuen@jrc.or.jp)／03-3437-7088)